平成27年度　目標管理シート （課別組織目標）

課かい名	学校教育課	課かい長名	渡邉　裕一

組織目標	八代市教育振興基本計画に基づいた総合的かつ計画的な施策の推進により教育環境の整備を図ることで、子どもたち一人一人の「生きる力」を育み、地域とともに学校・園の教育力を高めます。

課重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等				変更内容	中間レビュー （10月1日時点）		目標の達成状況（3月末時点見込）		次年度に向けて（引継ぎ事項）	
	課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等		・上半期（4月～9月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（10月～3月）に向けた課題等	中間進捗度	・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果(達成できなかった事由、理由等)	達成度	①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
学校教育課①	**小中一貫・連携教育の充実** 教育部③	①具体的目標	義務教育9年間を通して、系統的・継続的な学習指導や生徒指導を行うことで、確かな学力、豊かな心、健やかな体などの「生きる力」の育成を図るための小中一貫・連携教育推進体制の充実を図る。特に、中1ギャップの解消については、「中学生になるのが楽しみ」と回答する小学6年生の割合（26年度84%）を1ポイント以上伸ばす。	○4月　管外から本市に異動となった校長に対し、本市の取組状況について個別に説明し、共通理解を図る。 ○5月　小中連携コーディネーター研修会を開催し、推進上の課題解決を図るとともに、各中学校区の取組を学び合い、今後の推進に資する。 ○7月　第1回八代市小中一貫・連携教育推進協議会を開催し、取組状況について全市的・総合的に検討する。 ○学校訪問において、全中学校区共通7つの取組の進捗状況等を確認する。5月（6校）6月（5校）7月（9校）8月（9校）9月（2校）10月（6校）11月（2校） ○11月　意識調査（児童生徒・教職員・保護者）を行い、変容を分析する。 ○1月　第2回八代市小中一貫・連携教育推進協議会を開催し、取組を総括する。					①具体的目標	
		②課題、特記事項等	一体型、隣接型、校区型、それぞれの実態に応じた取組が進められてきているが、地域の状況により様々な課題がある。							②課題・特記事項等	
学校教育課②	**学校規模適正化の推進** 教育部③	①具体的目標	八代市立学校統合等審議会の答申を受け、平成23年1月に策定した「八代市立学校規模適正化基本方針」、平成23年10月に策定した「八代市立学校規模適正化基本計画」の確実な実施を目指し、本市の児童生徒にとって望ましい教育環境の整備に取り組んでいく。	八代市立学校統合等審議会の答申に対して、教育委員会としての方針をもとに、教育環境の整備に取り組む。そのために、教育委員会及び総合教育会議において決定された方針に基づき、その方針達成のため、後期計画（平成27～30年度）の中で地元説明会、パブリックコメントなどを通じて合意形成に努める。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	児童にとって望ましい教育環境の確保を優先課題とし、引き続き、保護者や地域住民等に対して、丁寧に意見交換を行い、共通認識及び理解を図り、保護者等の不安を解消していく必要がある。							②課題・特記事項等	

重点事業番号	課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	・上半期（4月～9月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（10月～3月）に向けた課題等	中間進捗度	・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果(達成できなかった事由、理由等)	達成度	①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
学校教育課③	**確かな学力の向上**	①具体的目標	自ら学び自ら考える力と基礎的・基本的な内容の確実な定着を図ることで、生きる力を育む教育の充実に努めることを重視する。平成27年度熊本県学力調査（ゆうチャレンジ）で小学3年から中学2年までの各教科、計26項目において総合正答率を平成26年度より引き上げることを目指す。	「学力向上やつしろプラン」を基に以下の視点を重点として取り組む。 〇5月～11月の学校訪問では、研究授業及び分科会・全体会を通して、教職員の指導力・授業力の向上を図る。 〇5月～3月の指導主事派遣による校内研修推進事業で、校内研修の活性化を図る。 〇12月までに小学校全学年に配付した国語デジタル教科書を活用した授業研究会を行い、各学校での活用に関する研修会を持つよう指導する。 〇年間を通して、昨年度から始めたハッピーブック運動をより充実させ、読書活動の推進を図る。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	NRTの小学校全体の偏差値は全国平均をやや上回っている。中学校全体の偏差値は全国平均とほぼ同じである。過去3年間の総合偏差値を比較すると、小学校は年々上がってきている。中学校はほぼ変わっていない。							②課題・特記事項等	
学校教育課④	**「いじめ問題」対応の強化**	①具体的目標	八代市いじめ防止基本方針に則り、いじめ等の事案において解決が困難な場合、専門的な立場から適切な対応を検討し指導する「学校支援委員会」を招集し、対応するとともに、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するため、「八代市いじめ問題対策連絡協議会」を立ち上げ、重大事案の減少を目指す。	【八代市学校支援委員会】 専門的な立場から適切な対応を検討し指導助言を行うため、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとともに、事案に応じて弁護士、臨床心理士、精神保健福祉士、社会福祉士の4名が支援活動を行う。 〇5月中に八代市学校支援委員会委員の委嘱及び第1回八代市学校支援委員会を開催する。 〇5月の委嘱後、事案に応じて、適宜対応していく。 【八代市いじめ問題対策連絡協議会】 いじめの防止、早期発見、早期解消のための対策を総合的かつ効果的に推進するために、いじめ防止等に関する機関、団体等と協議を行い連携を図る。 〇7月に八代市いじめ問題対策連絡協議会を立ち上げる。 〇7月以降、八代市いじめ問題対策連絡協議会を4回程度開催する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	いじめ問題をはじめ、生徒指導上の諸問題において、解決が困難となった場合、専門的な立場から適切な対応を検討し、指導助言を行う。特に重大な事案が発生した場合、学校支援委員会やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとともに保護者対応、児童生徒の心のケア等、学校の平常化のために、指導助言を行う。							②課題・特記事項等	
学校教育課⑤	**小学校運動部活動の社会体育への移行準備**	①具体的目標	平成27年3月に策定された県の「児童生徒のための運動部活動及びスポーツ活動の基本方針」に基づき、平成30年度末までに本市の小学校部活動の社会体育移行を目指した準備を整える。	〇本年度10月をめどに、社会体育移行のための検討委員会を設置する。その後、本市の実態に応じた活動環境・体制等の整備について3回程度の協議を経て、移行に向けた取組を推進するために必要な事項について提言を得る。 〇提言を受け、各学校においては本年度中に校内委員会を開催し、円滑な移行に向けた具体的な取組を論議するとともに、決定事項を児童・保護者等へ説明する。 〇平成30年度末までに、準備が整った学校または種目から漸次社会体育に切り替えていく。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	学校や地域によっては社会体育移行後の受け皿となる団体や指導者の確保が難しいところもある。県が積極的な活用を期待する総合型地域スポーツクラブについて、本市には3つのクラブが活動中であるが、すべての小学校を網羅するには厳しい現状である。							②課題・特記事項等	